

第五回生物多様性地域戦略改定検討会 委員発言

資料1

テーマ	主な意見	発言者
作成方針に関わる意見		
生物多様性を守る理由の提示	第1章に、なぜ生物多様性を守る必要があるのかという説明を入れる必要がある。初めて生物多様性というものに触れる人に、なぜ守る必要があるのかという考え方、多様な価値観、文化の素材になる等、そういうものを最初に示したうえで生態系サービスを一つの価値として出していくべき。	佐伯委員
ユースの意見の反映	2050年の将来像を検討するプロセスとして、中学生等の意見を委員会に届ける場、又はヒアリングの場を設けてほしい。当事者となる人が参加できるようにすべき。	鶴田委員
記載内容に関わる意見		
基礎自治体を意識した内容 (資料2 32ページ)	都市の中の緑が取り上げられていないという課題認識がある。基礎自治体は、当検討会の動向を確認しており、国内的に重要な地域として取り上げられていない自治体の緑地をどう捉えたらいいのか区市町村は悩むのではないかな。	佐藤(留)委員
身近な緑や都市の自然 (資料2 32ページ)	これから都市の緑は非常に重要なファクターとして生物多様性向上に関わってくる。実際にニューヨークやロンドンなどの先進都市は、まさに都市の中から自然多様性をつくっていかうとしており、その点が落ちているところが残念。希少種がいるから重要なのかというとそれだけではなく、身近な緑や都市の自然の重要性も示していただきたい。	佐藤(留)委員
東京の生物多様性の現状 (資料2 7ページ)	愛知目標の達成状況の表のように、東京都の生物多様性に関し、ここまでどういった状況にあるのかを総括する情報があるとよい。現在の状況やこれまでの取組を振り返り、その状態を皆に分かりやすく伝えることが必要である。	佐伯委員
エコロジカルフットプリントの認識 (資料2 16ページ)	エコロジカルフットプリントについては、これで全ての影響度がはかれるわけではないと経団連は認識しており、ひとつの考え方として紹介するという位置づけと理解している。	吉田委員
データに基づいた東京の生物多様性の現状評価	将来像の中に数値目標が入れられるのか。数値目標を入れるのが重要であると考え。レッドリストの種を減らす、緑地の減少をゼロにするもしくは緑を増加させるなど、皆の気持ちを奮い立たせる目標設定が必要である。	佐伯委員
データに基づいた将来像の議論の必要性	将来像はデータに基づいて本来であれば議論すべき。例えば、国では2050年二酸化炭素ゼロを掲げており、それを達成するためにはかなりチャレンジしていかないと到達できない。	一ノ瀬委員

テーマ	主な意見	発言者
(資料2) 中間のまとめ第1・2章 たたき台		
指摘事項	P3にある「種の絶滅速度」の図が古いので、差替えるべき。	一ノ瀬委員
	P4「生きもののつながり」のイラストについて ・クジラなどの高次消費者は人への矢印を取ってはどうか。 ・草食動物の中に家畜を加えてはどうか。	鶴田委員
	P12の3パラ 「東京は外国からの生物多様性の恵みに大きく頼っており」とあるが、頼っているのは外国だけではないので「他府県や他の地域」と入れた方がいい。	鶴田委員
	P19 神道も文化的サービスと関連しているので、伝統芸能のところで神道にも言及した方がいい。	鶴田委員
	P32 小見出しのタイトルで「国内的に重要な地域」と書くと、国内レベルで重要という意味で、他よりもレベルが一段下がるように見える。国内的に重要な制度で守られているなどとするのはどうか	鶴田委員
	P38 オガサワラシジミは域外保全の取組も行っており、緊急性があるため、詳しく書いた方がいいのではないか	鶴田委員
	P4「生きもののつながり」のイラストについて 人の生活のために全ての自然は存在しているように見えるため、人間も生きものの一つとして捉え、恵みをいただいているという謙虚な姿勢が見えるようなイラストにするのがよい。	佐藤(留)委員
	P9企業活動について 環境認証(JBIB,ABINC)など、企業側からの生物多様性向上への取組みなどもあった方がよい。	佐藤(留)委員
	P38 アライグマだけでなく、身近な生きものとして、ブラックバスやアカミミガメなども話題に入れるべきと考える。	佐藤(留)委員

テーマ	主な意見	発言者
指摘事項	P25、26 地形と自然環境はリンクしているので、地形と自然環境で記載を整えて説明した方がよい。ただ写真を並べるだけでなく地図と写真を結び付けて掲載すべき。写真で括ってあげることでよりわかりやすくなるのではないか。	荒井委員
	P4「生きもののつながり」のイラストについて ・この図を通じて、生命観、世界観、地球観。宇宙観それぞれの人のイメージを育んでいく必要がある。特に子供たちの世界観を引き出すような語りかけ方がいいのではないか。	鈴木部会長
	P8 生物多様性、気候変動、パンデミックは同時に対応すべきことと企業には認識されているので、生物多様性への取組みが気候変動にも貢献することを記載すべき。	吉田委員
	P38 第3の危機で身近な外来種の代表的なものとしてアメリカザリガニを入れてほしい。	須田委員
	4つの危機の中でも外来種の問題は特に大変な危機なので、オガサワラシジミの件などをコラムで紹介すべき。その中で、グリーンアノールの影響だけでなく、気候変動の影響が大きいことも含めて説明できるとよい。色々な取組みをしているが、外来種は広がっており、気候変動が更なる追い打ちを与えていることを具体例として示す必要がある。	須田委員
	P41 クマゼミのように自然分布のものもいるので、「人により持ち込まれた」を削除し、南に生息していた昆虫のクマゼミやナガサキアゲハなども定着できるようになった、というように大きな視点で表現するのはどうか。	須田委員
	P36 パームオイルがなぜ生物多様性の危機に繋がっているかが分かりにくい。プランテーションの写真の下に、カレーのルーやカップ麺、洗剤などに使用されていることがわかるイラストがあるとよりわかりやすい。	原口委員
	P9企業活動について 持続可能な形で生産・採取している木材、パームオイル、水産物などを調達している企業を評価する動きについて、具体的に記載することでP36に繋がると考える。	原口委員

テーマ	主な意見	発言者
指摘事項	P25 山地の説明で、「高標広域にはブナやシオジなど」とありますが、コメツガも追加すべき。	辻委員
	P26 屋敷林の写真をもっとよい写真に変更する必要がある。	辻委員
	P32 明治神宮に代表される都市林(都市植生)がこんなに広がっている大都市は他にないのでそういった東京の緑の特徴を伝えていくべき。	辻委員
	P12 「コロナ禍からの復興においては」を削除したほうがよい。	尾中委員
	P16 図の文字が小さいため大きくして見やすくした方がよい。	尾中委員
	P18 ・山梨県と東京都の県境を描いた方がわかりやすい。 ・ミツバチの写真が分かりづらいので、わかりやすい写真に変更したほうがよい。	尾中委員
	P25 台地の説明で「西部には」を削除する。	尾中委員
	P26 雑木林の写真を追加したほうがよい。	尾中委員
	各主体との連携、役割分担、行動計画等は整理するのか	佐藤(留)委員

テーマ	主な意見	発言者
(資料3) 改定後の地域戦略における2050年将来像(案)		
指摘事項	文化の項目で、2050年の話なので、「コロナ禍における」を削除し、さらにキーワードのコロナも削除するのはどうか。	佐藤(初)委員
	「都内外の生物多様性保全に貢献する」だけでなく、とあるが、「都内外の生物多様性保全に貢献する」ことを通じて生活の豊かさにつながっていくのではないか。	佐藤(留)委員
	基盤の項目において、「豊かな自然が残り生きものと共生する都市」とあるが、「残る」ではなく「創出する」というプラスの表現にするべきではないか。	佐藤(留)委員
	基盤の項目のキーワードに「生きものと共生できる整備計画」、「モニタリング調査」、「データ収集」、「野生鳥獣の保護」等を入れるのがよい。	佐藤(留)委員
	文化の項目において、暮らしそのものが文化と結びついていた歴史がある中、そういった歴史を取り戻していく要素を入れるべき。また、コミュニティを取り戻していくという要素を入れる必要がある。	佐藤(留)委員
	生物多様性を支える生態系サービスの基盤として水や土壌の量的な重要性を考えると、台地では「みどり率30%を回復する」くらい書いてもいいのではないか。	原口委員
	キーワードに生活の豊かさに繋がるものを入れた方がいいのではないか。生物多様性と生活のつながりを理解し、行動につなげていくキーワードが必要。	吉田委員

テーマ	主な意見	発言者
(資料4) 地形区分・将来像イメージ(台地)		
指摘事項	武蔵野原風景と言える屋敷と農地と雑木林が一体となった写真を載せるべき。	辻委員
	「緑に囲まれた快適な都市空間」については、企業緑地として表現するのか、都市の中に残る本物の自然(都市林、多様性に富んだ自然環境)として表現するかは検討が必要。都市の中にも本物の自然がほしい、子供たちも自然体験ができるくらいの自然が都市の中にもほしいという若者の意見がある。	鶴田委員
	外国人や障害者など多様性を示す要素を入れるべき。	一ノ瀬委員
	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートの要素を入れた方がいい。コロナ禍を通じて暮らしがどんどん変わっている様子を入れるべき。 ・身近な場所で自然を感じられる場所があることを将来像に入れてほしい 	佐藤(留)委員
	グリーンインフラという要素は地形だけでくれないので、地形ごとの将来像を描いたものが、全体を通して整合性を図る必要がある。	荒井委員
	<ul style="list-style-type: none"> ・島はエコロジカルネットワークの考え方が本土部と異なるので、慎重に検討した方がいい。 ・地形区分ごとの将来像が社会全体の将来像の中のどの部分を担っているかはイメージしながら検討すべき。 	須田委員
	都市部では企業が自主的に生きものの緑地を作るような連携が進んでいるので、人工地盤上の緑もヒートアイランドやエコロジカルネットワークを回復するため、そういった取組のつながりを示していけるといい。	原口委員

※主な意見のページ番号は、第五回生物多様性地域戦略改定検討会資料2のページ番号です。